

## 事業実績書

団体名	おおどのコミュニティ協議会
-----	---------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

働くところがあり、心豊かに暮らし続けることができるまちづくり

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	連携強化とつながる活動の推進		
	事業名	地域コミュニティ推進事業	決算額	1,041,625円
		地域コミュニティ推進事業(つながり)	決算額	313,291円
②	視点	各団体との連携と協働		
	事業名	三世代交流事業	決算額	26,451円
③	視点	地域個性を活用したにぎわいの創出		
	事業名	伝統文化の保存継承事業	決算額	704,615円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
① 各町内会をはじめ各団体との連携強化、情報交換を図るため、会議運営を工夫したほか、新たな人材の巻き込みを図るための研修を実施した。グループワークを通じて、みんなが少しずつ「チーム大殿」を意識し合うことの大切さを共有した。記念講演会では、「チーム大殿」構想に向けたパネルディスカッションを実施できたほか、庭木の学校では、参加者のボランティア意識等を把握する機会になった。 「チーム大殿」構想に向けた取り組みとして、各団体や住民をつなぐコーディネートの在り方を引き続き模索していく。	◎
② 多世代の交流や関係団体との連携強化を図るため、「第3回大殿ペタンク大会」を開催したほか、三世代交流ウォーキングの見直し協議を行った。ペタンク大会の実施にあたり、体育委員会からの協力(8名)を得たほか、大内ボードゲームの体験会(山大生4名参加)を協議のアイデアとしてウォーキングの見直し検討を深めた。 関係団体との共催や協働を視野に、地域で顔の見える関係づくり、交流機会の確保につながるアイデアを出し合って、事業をより効果的なものにしていく。	◎
③ 地域の伝統文化(祭り)を通して地縁の強化を図るため、2018つながる大殿七夕ちょうちんの灯事業を実施した。町内会をはじめ、大殿中OTK(大殿地域に貢献し隊)や大勢のボランティアの皆さんの協力によって継続実施できている。部会協議を重ね、10年目を迎えた事業を振り返るちょうちん特集号の発行ができた。 地縁の復活を検証しながら持続可能な運営を模索していくとともに、地域のお宝再発見のための協議を進めたい。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第4期大殿地域づくり計画に沿った取り組みを始動した。基本理念に加筆した「働くところがあり」に込めた職業以外のいきがいややりがいがあるといった視点を大事にして、地域住民へ幅広い情報発信をしていきたい。

専門部会(あんぜん部会・やすらぎ部会・にぎわい部会)と運営委員会の位置づけとして、

- ・専門部会は、地域課題一つ一つの視点を明確にしてその解決策を協議、活動する。
- ・運営委員会は、地域内の連携強化のため「まず知り合うことから」というスタンスで協議を重ねている。

今年度は、地域づくり計画に明記した「チーム大殿」構想に向けた取り組みについて意見交換を行い、共通認識をはかる第一歩を踏み出した。

今後は、地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらい、参加してもらい、参画してもらい、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討し、併せて地域コーディネートの手法を模索していきたい。

## 5 事業内容

### (1) 協議会運営

事業費	5,786,938円
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務局員:3名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費及び事務費</p> <p>(成果・評価) 町内連合会の事務受託、業務の見直しと効率化、調整に重点に置いた運営に努めた。</p> <p>(今後に向けて) 「チーム大殿」構想に向けた中間支援としての事務局のスキルアップに努めたい。</p>

### (2) 地域振興

事業名	地域情報の発信と広報活動事業
事業費	97,503円
事業概要	<p>(実施内容) ホームページの定期更新及びコミュニティだよりの発行。地域情報の一元化に向けた検討。</p> <p>(実施時期) 平成30年4月～平成31年3月</p> <p>(参加人数) 100人</p> <p>(成果) 事業の告知・報告を定期的に発信できた。地域情報の一元化の検討をスタートした。</p> <p>(評価) 地域情報の一元化に向けた検討は事業目的の共通理解にたつて、「到達点」を明確にし、調整を進める必要がある。</p> <p>(今後に向けて) 地域の人を巻き込んだ情報発信のありかたを検討していく。</p>

事業名	地域行事の活動支援事業
事業費	463,640円
事業概要	<p>(実施内容) 町内親睦大運動会種目支援、ほたる観賞Week! 大殿のおもてなし(委託費等)、大殿ふるさと祭り活動支援(委託費等)、大殿地区ロードレース大会活動支援(うどん資材)</p> <p>(実施時期) 平成30年5月13日、6月2日、11月11日、平成31年2月17日</p> <p>(参加人数) 1,121人</p> <p>(成果) 地区住民の参加意識の醸成の一助になっている。</p> <p>(評価) 実行委員会や関係団体との連携強化を視野に実施できた。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、事業を通じて連携強化や住民参加の意識の醸成を図っていく。</p>

事業名	地域コミュニティ推進事業
事業費	1,041,625円
事業概要	<p>(実施内容) 町内会を中心とした関係団体との連携強化。活動拠点の充実。</p> <p>(実施時期) 平成30年4月～平成31年3月</p> <p>(参加人数) 500人</p> <p>(成果) 「チーム大殿」構想に向けたグループワークなど、会議で話し合いの意識が醸成されている。</p> <p>(評価) 参画した実感のある会議運営の更なる工夫が必要。また、各団体の得意分野や困りごとなどを共有し、「チーム大殿」を意識した活動へつなぐ視点や仕掛けが必要。</p> <p>(今後に向けて) 「チーム大殿」構想に向けて、各団体や住民をつなぐコーディネート の在り方を模索する。</p>

事業名	地域コミュニティ推進事業(つながり)
事業費	313,291円
事業概要	<p>(実施内容) 協働のまちづくり10周年記念講演会、研修(庭木の学校)の開催。</p> <p>(実施時期) 平成30年4月21日、6月24日、10月13日</p> <p>(参加人数) 157人</p> <p>(成果) 記念講演会では「チーム大殿」構想に向けたパネルディスカッションが実施できた。 庭木の学校では参加者の学習意欲やボランティア意識の把握ができた。</p> <p>(評価) 10周年記念講演会は目標の集客には至らなかったが、「チーム大殿」の意識をもって地域を考える必要性や課題が明確になった。 研修は新たな参加者の巻き込みのため学校シリーズの見直し(メニューの検討)が必要。</p> <p>(今後に向けて) 地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらう、参加してもらう、参画してもらう、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを行っていく。</p>

事業名	地域コミュニティ推進事業(次世代育成)
事業費	89,294円
事業概要	<p>(実施内容) 成人式記念写真とメッセージ集の贈呈</p> <p>(実施時期) 平成30年12月～平成31年3月</p> <p>(参加人数) 175人</p> <p>(成果) 記念写真とともに贈呈するメッセージ集は大殿小4年生や運営委員会で有志の皆さんに原稿を依頼し、地域の人の手作りという思いのこもったものができた。</p> <p>(評価) 地域への愛着を培ってもらいたいという思いから地域ぐるみで次世代を育成しようという事業として継続できている。</p> <p>(今後に向けて) 地域行事としての位置づけなど見直しも行い、持続可能なものへと工夫していきたい。</p>

事業名	助成金交付事業
事業費	294,279円
事業概要	<p>(実施内容) 地域づくり計画に掲げた課題の解決につながる事業を実施する6団体に助成金を交付した。</p> <p>(実施時期) 平成30年4月～平成31年3月</p> <p>(参加人数) 56人</p> <p>(成果) 厳正な審査の実施及び要綱改正を含む次年度募集への申し送り事項が整理できた。</p> <p>(評価) 事業の事前告知と事務局でのサポートにより申請しやすい仕組みづくりに努め、新規団体への助成が1件増えた。</p> <p>(今後に向けて) 交付要綱の見直しと合わせ募集の事前告知などの工夫により、応募団体を増やすように努める。</p>

(3) 地域福祉

事業名	三世代交流事業
事業費	26,451円
事業概要	<p>(実施内容) 三世代交流ウォーキングの見直し検討のための部会協議及び大殿ペタンク大会の開催</p> <p>(実施時期) 平成30年8月21日、10月14日、11月21日、12月8日、1月17日。</p> <p>(参加人数) 70人</p> <p>(成果) 三世代交流ウォーキングについて部会での意見交換及び、山大生発案の大内ボードゲームの体験会の実施など見直しに向けた検討ができた。 大殿ペタンク大会はテストマッチと大会当日に体育委員会の協力を得て運営できた。</p> <p>(評価) 大殿ペタンク大会は参加者やスタッフが楽しく交流できる場になってきている。次年度は体育委員会との共催事業としての位置づけなども期待したい。</p> <p>(今後に向けて) 交流機会の確保につながるアイデア、事業統合など部会協議で共通理解を図っていきたい。</p>

事業名	健康教室事業
事業費	39,000円
事業概要	<p>(実施内容) 行くっちゃ！おおどの健康体操教室への活動支援。</p> <p>(実施時期) 平成30年5月～7月、9月～11月</p> <p>(参加人数) 960人</p> <p>(成果) 健康寿命を伸ばすことに意欲のある人が集まり、高齢者の健康づくりに役立った。健康体操教室は延べ24回開催に増えた。</p> <p>(評価) 健康づくりへの意識啓発が期待できる。</p> <p>(今後に向けて) 仲間づくりから町内会等で老人クラブ結成へとつながることを期待し、活動支援を継続したい。</p>

事業名	おおどのたすけあいのまちづくり体制整備の支援
事業費	38,886円
事業概要	<p>(実施内容) おおどのたすけあいのまちづくり体制整備の情報共有、支援。</p> <p>(実施時期) 平成30年6月～平成31年2月</p> <p>(参加人数) 115人</p> <p>(成果) 部会でボランティア不足の課題について意見交換のほか、ボランティア育成のための研修への活動支援を行った。研修参加者数は、11/22(20名)、1/24(12名)、2/26(15名)であった。</p> <p>(評価) 事業の計画から実施にあたって部会内での情報共有不足や地域への情報発信が弱かったなどが反省点としてあげられた。</p> <p>(今後に向けて) 部会内での情報共有を図り、ボランティア育成事業への支援を継続していきたい。</p>

(4) 安心・安全

事業名	大殿地区安心安全のつどい事業
事業費	53,597円
事業概要	(実施内容) 安全意識・災害時の意識啓発を目的とした「大殿地区安心安全のつどい」事業の開催。 (実施時期) 平成30年11月11日 (参加人数) 400人 (成果) つどい事業は部会協議を重ねて企画を練り上げた。部会員スタッフは前年より3名増で、ボランティアスタッフ(山大生4名、大殿中OTK5名ほか)と協力してつどいを運営できた。 (評価) ふるさと祭りと同時開催による啓発活動は、体験コーナーを通じていざという時を考えるきっかけづくりの一步につながっている。 (今後に向けて) イベントコーナーのスタッフ不足という課題をふまえ、企画運営を検討していきたい。

事業名	自主防災活動推進事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 自主防災活動推進のための研修の実施については部会協議のみ。 (実施時期) 平成30年6月～平成31年3月 (参加人数) 42人 (成果) 研修の実施に向けた部会協議をスタートできた。 (評価) 研修(視察)の企画を担当するといった部会の役割の確認ができた。 (今後に向けて) 防災に関する情報の整理や視察研修後の振り返り会なども検討を進めたい。

事業名	地域見守り活動事業
事業費	59,309円
事業概要	(実施内容) 見守り活動に関する懇談会の実施及び部会で見守りに関するアイデアなどの協議 (実施時期) 平成30年7月12日、平成31年1月31日、2月19日、3月4日 (参加人数) 68人 (成果) あんぜん部会と大殿小PTAの働きかけで、懸案であった見守り活動懇談会が開催できた。 (評価) 懇談会は見守り活動へのアイデアを持ち寄っての継続開催が期待される。 (今後に向けて) アイデア出しから必要な調査(講習会やマニュアル、資材)など部会協議を深めていきたい。

事業名	反射鏡設置事業
事業費	12,540円
事業概要	(実施内容) 各町内会に要望調査を行い、1件(上金古曾町内会)実施。 (実施時期) 平成30年4月～平成31年3月 (参加人数) 100人 (成果) 事業の進捗について、随時三役会に情報提供できた。 (評価) 当該事業は交付金とは別の枠組みでの補助金交付が望ましい。 (今後に向けて) 自治会活動の手引きに組み込む等、交付金の枠組みからはずしてもらうことを要望したい。

(5)環境づくり

事業名	環境整備事業
事業費	46,440円
事業概要	(実施内容) 地域内の環境整備(作業資材費及び処分費) (実施時期) 平成30年4月21日、10月13日 (参加人数) 41人 (成果) 庭木の学校での研修にあわせて環境整備を実施した。 (評価) 研修事業(庭木の学校)への参加者の声からも環境整備への関心は高い。 (今後に向けて) 環境整備事業は交流センター利用団体の清掃活動との協働も視野に進めたい。

事業名	土木工事(法定外公共物・単市土地改良)平成28年度より市に返還
事業費	-
事業概要	(実施内容) (実施時期) (参加人数) (成果) (評価) (今後に向けて)

(6)地域個性創出

事業名	伝統文化の保存継承事業
事業費	704,615円
事業概要	(実施内容) 「つながる大殿七夕ちょうちんの灯」事業を実施した。地縁の復活をめざして取り組んできた事業が10年目を迎えたことから記念特集号を発行し、住民への情報発信に努めた。 (実施時期) 平成30年5月～平成31年3月 (参加人数) 718人 (成果) 地域内のまつりは、町内会をはじめ、大殿中OTK(大殿地域に貢献し隊)や大勢のボランティアの皆さんの協力によって継続実施できている。「つながる大殿七夕ちょうちんの灯」事業では子ども歴史学習会を地域交流センターの社会教育事業との共催で企画したが、荒天のため中止となった。八坂神社では、2年越しで「山大生の縁結び企画」が実施され、来場者に好評であった。部会協議を重ね、10年目を迎えた事業を振り返るちょうちん特集号の発行ができた。 (評価) 10年目を迎え、地縁の復活をめざし取り組んできた事業の検証と持続可能な運営について協議を深める必要がある。 (今後に向けて) 会員による事業運営から住民を巻き込んだ事業運営にシフトしていくという視点も入れ、見直し協議を深めるとともに、地域のお宝再発見のための協議も進めたい。

事業名	体育振興事業
事業費	55,576円
事業概要	(実施内容) 体育振興のための研修参加費補填の協議や体育用具の整備を実施した。 (実施時期) 平成30年5月～平成31年3月 (参加人数) 28人 (成果) 部会で地域の体育推進委員の活動について情報共有できた。 (評価) 地域での推進種目を決めて、体育振興のための研修参加を促す体制を作るという共通認識ができた。 (今後に向けて) 体育振興事業はにぎわいの創出の観点からも協議を深めていきたい。